



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.24
2012年 7月号

公益財団法人
School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

田植え

6月10日朝9時、この日は朝からSAJ Farmは大賑わいでした。子どもたちと田植えをする日なのです。

子どもたちに田植えをしてもらうのは3回目になりました。農場で準備をした水田は約75アール(7500㎡)です。「30センチ間隔で植えること」と「どうして間隔をあけなければならないか」という説明をした後一斉に水田に入り植えつけを始めました。

各々苗を持って水田に入るときの子供たちの表情はそれはそれはうれしそうです。孤児院とは違ったところに来ているということもありますが、仲間とともに1つの作業をするということも手伝っていたことでしょう。

約80人もの子どもがいったん作業を始めたらその勢いは衰えることを知りません。以前にも見ている光景のはずなのですが毎回圧倒されてしまいます。大きい子も小さい子も、男の子も女の子もみんな一所懸命植えてくれるのです。そのため茶色一色だった水田が見る見るうちに緑にかわっていきます。

昨年は水田の面積も小さかったことから午前中でほとんど田植えが終わってしまいましたが、今年はお昼をはさんで再び田植えを続けてもらいました。予定通り田植えが終わり余った時間は農場のため池に飛び込み水浴びです。しかしさすがに疲れたと見えて帰りのバスはみんなすぐに寝てしまいました。



一列に並び田植えを始める子供たち

ところで、カンボジアにいても日本のニュースはどうしても気になる場所です。今は地方にいてもインターネットでニュースが見られるようになったため、詳しい内容とはみたく見出しだけでも見るようにしています。

職業柄もあってか天気は気になります。特にこの時期は「梅雨」があったり「台風」が来たりするのでなおさらです。近年の日本の天気は場所によって大きな差が出ているようですね。災害が起きてしまうほど多量の雨が降るところや竜巻などがおきる場所が多くあると聞いていますし、9月に入った今でも残暑の厳しいところがあったりと今までとはなんとなく違った天気になってきていると聞いています。

天気に関して予測が難しいのはカンボジアも同じようです。「今年は雨の多い年」とカンボジアの人たち誰もがそのようなことを言っていたのですが、実際は農場のあるここコンポンチュナン州の雨は昨年よりも少ないようです。そのようなことから6月頃から7月下旬にかけて私たちも揚

水機を使って水をくみ上げることをしました。子供たちが植えてくれた苗を枯らすわけにはいきません。



WATAMI グループの社員の皆さんが田植えをしている様子

ポンプアップをしたにもかかわらず、やはり雨が少ないということは作物の生育に影響を及ぼします。田植え後の根のはりが遅かったり、生育に差が出てしまったりというのが例として挙げられます。しかしそのようなことも今ではどうにか乗り越え順調に生育をしています。

実は、今回はもう1つのグループにも田植えをしていただきました。そのグループとはツアーでご来場されたWATAMIグループの社員の皆さんです。

田植えを行った日は6月14日。急遽スケジュールの中に組み込んでいただきました。突然のお願いであったにもかかわらず皆さんには快諾していただき実現しました。

した。

この日は雲が多く、私たちにとって比較的涼しい日でした。田植えをした水田は約15アール(1500㎡)です。その時間はなんと40分のみ。

初めて田植えをする方が多かったことから植え始めはどう植えたらいいかわからずにいた方も多く「これで大丈夫ですか?」と尋ねる方、「あれっ、曲がっちゃった」と戸惑ったり列を気にしてくださる方がほとんどでしたが、コツをつかみ始めた15分後には黙々と作業に没頭され真剣そのものでした。

皆さんには、田植えをしていただくことはもちろんなのですが、土に触れること、特に水田に足を入れることだけでも楽しんでいただけたようです。中には「せっかく植えたのだから収穫のときも来たい!」とあって農場を後にされた方もいらっしゃいました。

先に「雨が少ない…」という旨をお伝えしましたが、全く降らないということではありません。降雨量が少ないので難儀はしますが、それでもどのような生き物にとっても恵みの雨なのです。そのため田植えのころから私たちの農場も徐々に緑で覆われてきています。

6月30日の時点でのレモングラスは6700株、面積にして40アール(4000㎡)になりました。これは現地スタッフが毎日コツコツと植え続けてくれたおかげです。まだまだ増やしています。

土壌改良のために陸稲や一部の畑にはトウモロコシとソルガムという畑に鋤き込むための作物も昨年から継続して種を播きました。

10月には今年2回目の水稻を作付けます。

皆様のご期待に少しでも近づくように努めようと思いますので引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

編集後記

6月28日、新しく農場のスタッフとなる上井君がカンボジアに無事到着しました。その後2ヶ月間の語学研修を終え9月から農場で私たちとともに勤務するようになったのです。彼の紹介を次号にさせていただきます。お楽しみに。

飯島